

第 1 章 市民意見募集結果

1 市民意見募集の概要

(1) 目的

令和3年12月23日から令和4年6月30日まで、ベイブリッジ内側の内港地区の将来像の検討及び山下ふ頭再開発の新たな事業計画策定に向け、市民等の皆様からの意見募集を行いました。その結果を踏まえ、より具体的な再開発のイメージや導入機能を伺うため、改めて市民意見募集を行い、今後の事業計画の検討に活用していくことを目的とします。

(2) 募集期間

令和4年11月22日（火）から令和5年2月28日（火）まで

(3) 募集方法

リーフレット付属の専用はがきやインターネットの入力フォームによる自由記述形式とします。

(4) 回答数

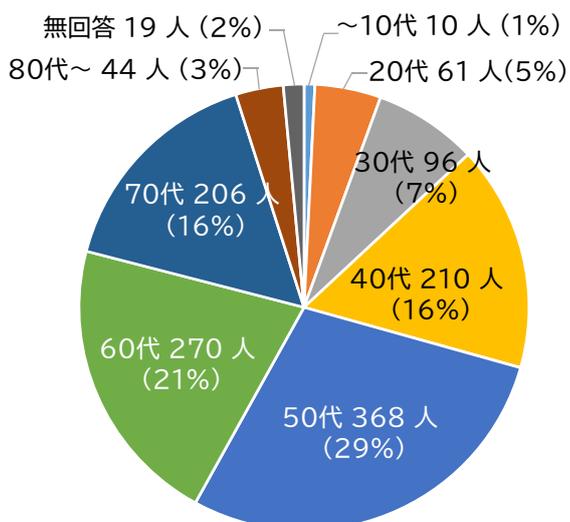
1,284 件

【参考】提出方法の内訳

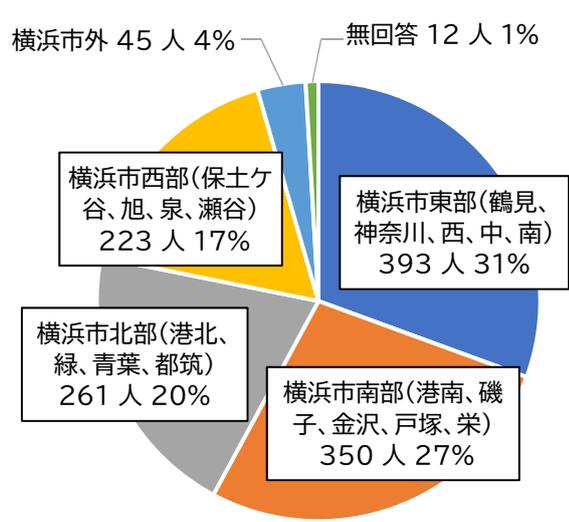
専用はがき	150 件	
インターネット入力フォーム	1,093 件	(うち、e アンケート 827 件)
電子メール等	41 件	

(5) 回答者の属性

図表 1-1 年代別割合



図表 1-2 居住地別割合



図表 1-3 年代、居住地別人数一覧

	~10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代~	無回答	小計
鶴見区	0	3	3	12	7	13	10	1	0	49
神奈川区	1	4	11	15	23	17	15	3	0	89
西区	0	2	10	15	18	15	2	0	0	62
中区	0	6	11	18	41	24	14	1	3	118
南区	0	0	3	17	17	24	13	0	1	75
港南区	1	6	2	3	15	18	13	4	1	63
保土ヶ谷区	0	1	6	12	22	13	16	3	0	73
旭区	1	2	7	16	27	14	12	2	0	81
磯子区	1	2	7	10	17	10	8	4	1	60
金沢区	0	2	3	10	35	18	20	2	0	90
港北区	2	10	1	26	40	18	18	1	1	117
緑区	0	1	3	9	10	8	3	1	0	35
青葉区	1	3	3	6	16	16	12	3	0	60
都筑区	0	1	5	9	12	11	7	4	0	49
戸塚区	1	4	7	8	33	24	15	5	1	98
栄区	0	1	3	3	8	11	7	5	1	39
泉区	0	1	1	6	9	7	10	2	1	37
瀬谷区	0	3	2	1	9	6	8	3	0	32
横浜市外	2	9	8	13	8	3	2	0	0	45
無回答	0	0	0	1	1	0	1	0	9	12
小計	10	61	96	210	368	270	206	44	19	1,284

2 市民意見募集の集計・分析方法

(1) 意見の分類、類型化

意見を分析するため、市民の皆様からいただいた意見を次の方法で分類、類型化しました。

- ・意見をアフターコーディング^{※1}の手法により、「再開発のイメージ」、「導入機能」及びそれらの意見の背景にある「理由」に分類。
- ・定量的な分析が行えるよう、分類した意見を内容に応じて次のとおり類型化。

分類項目	類型化
「再開発のイメージ」	海・みなと / 観光 / 景観 / 国際性 / 市民のための再開発 / 先進性 / 賑わい・楽しさ / 緑・憩い / 歴史・文化・芸術性 / その他 ⇒これらのテーマごとに各再開発のイメージに類型化
「導入機能」	MICE 機能 / エンターテインメント機能 / ショッピング機能 / スポーツ機能 / 企業・大学・研究開発 / 教育機能 / 交通機能 / 公園・広場 / 港湾機能 / 宿泊機能 / 水辺・親水機能 / 文化・芸術機能 / その他 ⇒これらのテーマごとに各導入機能に類型化
「理由」	カーボンニュートラルに取り組む / 横浜が活性化する / 横浜に住む人を増やす / 環境へ配慮する / 雇用を生む / 採算を考慮する / 災害に対応できる / 周辺地域と連携する / 将来を見据えたまちづくり / 人が訪れる / 生物多様性に配慮する / 市の収益の向上 / 都市ブランドの向上 / 利便性が向上する / 立地特性を活かす

※1 アフターコーディングとは

自由意見に対して類似の意見を少数のカテゴリーに振り分ける手法。定性的な情報を定量的に分析することが可能となる。

(2) 集計・分析

意見については、その具体的内容の傾向を把握するため、以下の分析を行いました。

ア 全体の傾向の把握

- ・意見を一文ずつに分け、テキストマイニング^{※2}の手法により、出現頻度の高い単語の抽出・集計し、ワードクラウド等により集計結果を可視化

※2 テキストマイニングとは

文章を単語で区切り、それらの出現の頻度、相関などを解析することで有用な情報を、明確化する分析方法。

イ 再開発のイメージ、導入機能、理由に関する分析

- ・(1)で類型化した内容を集計し、ツリーマップ等により集計結果を可視化

ウ 再開発のイメージ及び導入機能と理由の関係性に関する分析

- ・(1)の分類間の関係性を平行座標プロット^{※3}により可視化

※3 平行座標プロットとは

各分類軸（理由、再開発のイメージ、導入機能）を縦軸に平行で並べ、1つの回答につき、1つの線でその関係性を表現するグラフの表示方法。

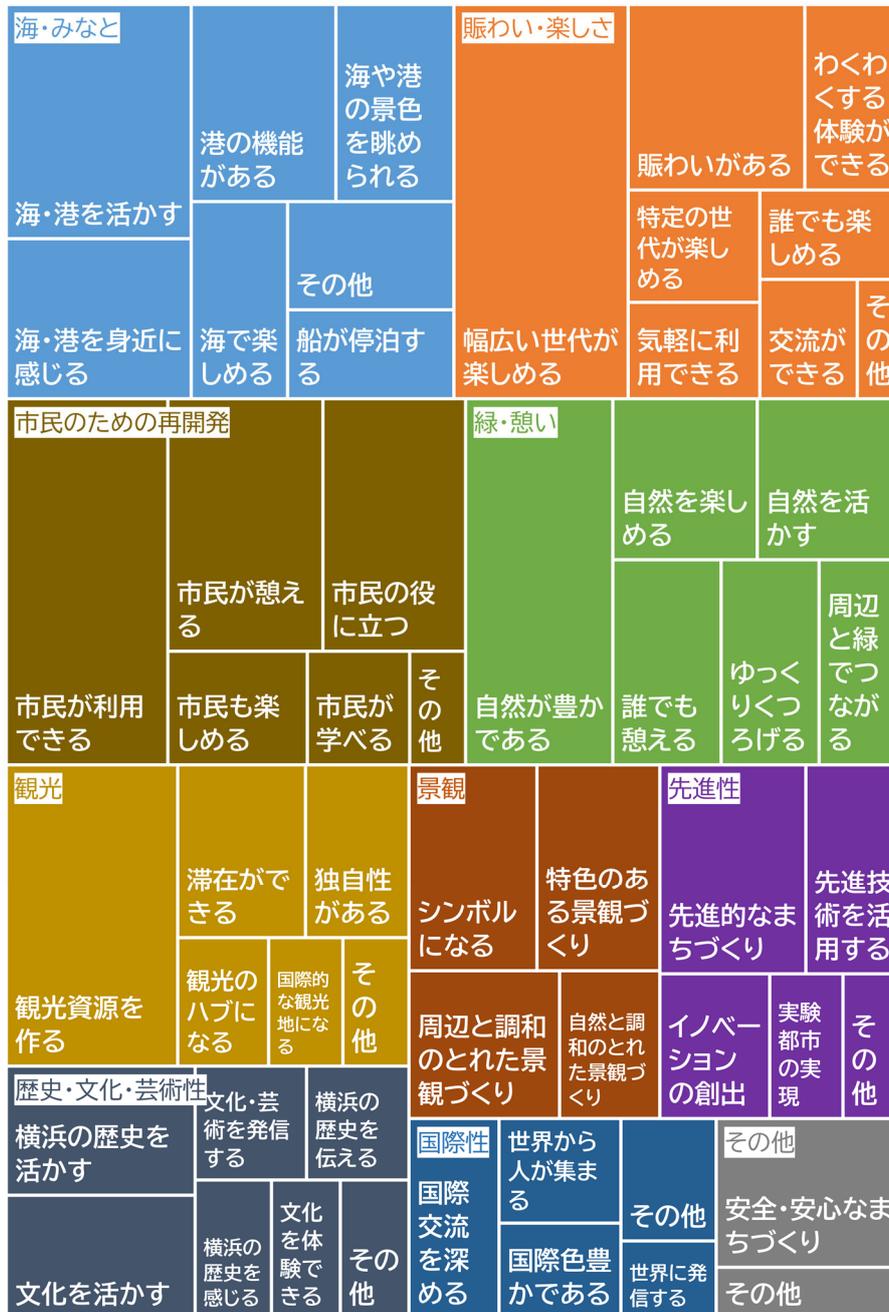
(2) 再開発のイメージの集計結果

ア 単純集計の結果

「再開発のイメージ」に分類した意見の集計結果については、図表 3-3 から図表 3-5 のとおりです。意見のテーマとしては「海・みなと」、「賑わい・楽しさ」、「市民のための再開発」、「緑・憩い」、「観光」が多く、再開発のイメージとしては「幅広い世代が楽しめる」（賑わい・楽しさ）、「市民が利用できる」（市民のための再開発）、「自然が豊かである」（緑・憩い）、「観光資源を作る」（観光）、「海・港を活かす」（海・みなと）が多くなっています。

図表 3-3 再開発のイメージ（ツリーマップ）

※類型化した意見をテーマごとに集積して色分け、面積の大きさは意見の多さを表す



図表 3-4 再開発のイメージ（集計表）

再開発のイメージ	意見数		
海・みなと	167	歴史・文化・芸術性	96
海・港を活かす	41	横浜の歴史を活かす	23
海・港を身近に感じる	28	文化を活かす	22
港の機能がある	27	文化・芸術を発信する	12
海や港の景色を眺められる	22	横浜の歴史を伝える	11
海で楽しめる	18	横浜の歴史を感じる	10
船が停泊する	14	文化を体験できる	9
海の生物や港の役割を学べる	8	既存施設を活用する	5
海と緑の調和	5	芸術に触れられる	4
海をきれいにする	4	景観	84
賑わい・楽しさ	167	シンボルになる	25
幅広い世代が楽しめる	65	特色のある景観づくり	24
賑わいがある	31	周辺と調和のとれた景観づくり	21
わくわくする体験ができる	17	自然と調和のとれた景観づくり	14
特定の世代が楽しめる	14	先進性	81
気軽に利用できる	12	先進的なまちづくり	29
誰でも楽しめる	12	先進技術を活用する	19
交流ができる	11	イノベーションの創出	15
いつでも楽しめる	5	実験都市の実現	10
市民のための再開発	159	企業を誘致する	4
市民が利用できる	56	先進技術を生み出す	4
市民が憩える	37	国際性	58
市民の役に立つ	34	国際交流を深める	17
市民も楽しめる	15	世界から人が集まる	12
市民が学べる	11	国際色豊かである	11
市民が集まれる	6	世界に発信する	7
緑・憩い	151	国際競争力が高まる	6
自然が豊かである	51	世界の文化に触れられる	5
自然を活かす	22	その他	35
自然を楽しめる	22	安全・安心なまちづくり	26
誰でも憩える	21	清潔感がある	5
ゆっくりくつろげる	19	子供が学べる	4
周辺と緑でつながる	16	総計	1113
観光	115		
観光資源を作る	49		
滞在ができる	21		
独自性がある	17		
観光のハブになる	11		
国際的な観光地になる	9		
ナイトライフを楽しむ	4		
長時間楽しめる	4		

図表 3-5 再開発のイメージ（年代別）

テーマ	再開発のイメージ	各年代の意見数									計
		～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	無回答	
海・みなと	海・港を活かす	0	3	1	6	14	10	6	1	0	41
	海・港を身近に感じる	1	1	2	5	7	8	3	1	0	28
	港の機能がある	0	0	0	3	8	9	5	0	2	27
	海や港の景色を眺められる	1	0	1	3	5	8	3	1	0	22
	海で楽しめる	0	0	2	3	8	1	3	1	0	18
	船が停泊する	0	0	0	2	4	3	4	1	0	14
	海の生物や港の役割を学べる	0	0	0	3	2	1	1	0	1	8
	海と緑の調和	0	0	0	1	2	1	1	0	0	5
	海をきれいにする	0	1	0	0	1	1	0	0	1	4
賑わい・楽しさ	幅広い世代が楽しめる	0	3	7	14	19	8	12	1	1	65
	賑わいがある	1	2	4	3	8	6	3	2	2	31
	わくわくする体験ができる	0	0	2	6	7	1	0	0	1	17
	特定の世代が楽しめる	0	0	4	0	3	6	1	0	0	14
	気軽に利用できる	0	0	0	3	5	2	2	0	0	12
	誰でも楽しめる	0	1	2	2	6	1	0	0	0	12
	交流ができる	0	1	0	1	2	2	3	1	1	11
	いつでも楽しめる	0	1	0	1	0	2	1	0	0	5
市民のための再開発	市民が利用できる	0	3	3	10	13	15	7	3	2	56
	市民が憩える	1	1	1	1	10	11	9	3	0	37
	市民の役に立つ	0	3	2	6	11	3	4	4	1	34
	市民も楽しめる	0	0	2	2	9	2	0	0	0	15
	市民が学べる	0	1	0	1	2	3	3	1	0	11
	市民が集まれる	0	1	1	1	1	1	0	1	0	6
緑・憩い	自然が豊かである	3	0	2	7	10	16	10	3	0	51
	自然を活かす	1	0	0	3	11	5	1	1	0	22
	自然を楽しめる	0	0	1	3	9	7	2	0	0	22
	誰でも憩える	0	1	0	1	6	8	5	0	0	21
	ゆっくりくつろげる	0	0	0	3	8	6	2	0	0	19
	周辺と緑でつながる	0	1	0	0	4	2	7	0	2	16
観光	観光資源を作る	0	2	7	10	8	16	5	0	1	49
	滞在ができる	0	3	0	4	7	5	1	0	1	21
	独自性がある	0	2	1	2	8	2	2	0	0	17
	観光のハブになる	1	0	1	2	3	1	3	0	0	11
	国際的な観光地になる	0	1	1	2	5	0	0	0	0	9
	ナイトライフを楽しむ	0	1	0	1	1	1	0	0	0	4
	長時間楽しめる	1	0	0	1	1	1	0	0	0	4
歴史・文化・芸術性	横浜の歴史を活かす	0	0	2	1	10	2	7	1	0	23
	文化を活かす	0	2	0	1	8	3	7	1	0	22
	文化・芸術を発信する	0	1	1	1	2	3	3	0	1	12
	横浜の歴史を伝える	0	0	1	2	2	1	3	2	0	11
	横浜の歴史を感じる	0	0	0	0	7	0	3	0	0	10
	文化を体験できる	0	0	0	2	2	1	2	1	1	9
	既存施設を活用する	0	0	0	0	1	2	2	0	0	5
	芸術に触れられる	0	0	0	0	3	1	0	0	0	4

テーマ	再開発のイメージ	各年代の意見数									計
		～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	無回答	
景観	シンボルになる	0	3	2	1	7	7	4	1	0	25
	特色のある景観づくり	1	3	0	5	11	2	1	1	0	24
	周辺と調和のとれた景観づくり	0	0	0	0	8	5	6	1	1	21
	自然と調和のとれた景観づくり	0	0	1	0	7	3	2	1	0	14
先進性	先進的なまちづくり	0	0	3	7	6	8	4	0	1	29
	先進技術を活用する	0	0	2	4	5	3	3	2	0	19
	イノベーションの創出	0	1	2	1	2	1	8	0	0	15
	実験都市の実現	0	0	1	0	6	1	1	1	0	10
	企業を誘致する	0	0	0	1	1	1	0	1	0	4
	先進技術を生み出す	0	0	1	1	0	0	2	0	0	4
国際性	国際交流を深める	0	0	2	4	3	4	3	1	0	17
	世界から人が集まる	0	1	0	2	4	2	3	0	0	12
	国際色豊かである	0	1	1	3	3	1	2	0	0	11
	世界に発信する	0	1	0	2	0	1	3	0	0	7
	国際競争力が高まる	0	1	1	0	1	2	1	0	0	6
	世界の文化に触れられる	0	0	0	1	0	4	0	0	0	5
その他	安全・安心なまちづくり	0	0	3	4	10	5	4	0	0	26
	清潔感がある	0	0	0	0	1	1	3	0	0	5
	子供が学べる	0	0	0	3	0	1	0	0	0	4

イ 主な意見（抜粋）

テーマ	意見内容
賑わい・楽しさ	常に人が多く子供が安心して遊べる、遊びやすい
	年齢・性別・障害・職業など幅広い層に出会える場を意図的に設けながらもそれを楽しむ形を作る
	外国の漁港やマルシェみたいな趣ある朝市～夜市が開かれ市民や観光客が終日飲食や買物が楽しめる
	はたらく・あそぶ・まなぶの観点から人が集まる施設
	今までにない非日常的なアクセスを充実させることで、テーマパークのような楽しさを作り出せば
	きれいで楽しい、ワクワクする場所、真夏でも大雨が降っても、台風でもそこに滞在している人を飽きさせない場所
	気軽にアクセスできて、楽しく過ごせる場所
	地元の人も観光客も誰もが楽しめる場所
海・みなと	世界に通用する巨大港を目指し港の機能の維持拡大が重要
	大型豪華客船が停泊できる
	海が近い環境が生かされる研究であれば更に良い
	周囲が海で囲まれた魅力を最大限生かして欲しい
	みなと横浜の海を身近に感じられるようなオープンな場所
	海の景色や散策を楽しむことができる
	ビーチサンダルで歩き、水着で泳げるような、南国的な場所
	船舶、釣りなど海洋レジャーをより身近に体験
市民のための再開発	多くの市民が利用できる、老若男女を問わないものがない
	市民のためだけに特化したものもあっていい、市民を主体にしたもの
	市民が気軽に立ち寄れる憩いの場
	限られた一部の人が利用する場所ではなく、誰でも気軽に憩える場所
	横浜市民のくらしや生活に役立つための施設を集中的に開発
	横浜市民にもメリットが還元される
	他地域からの観光客の誘致だけでなく、市内在住者にも魅力的
	横浜市民も宿泊し、数日間楽しめるようなエリア
緑・憩い	自然が豊かなことが都市の価値になっていく
	自然の木を多く残して欲しい
	ある程度の森を創出して、こどもたちの自然観察などの学びの場
	四季を通して花が楽しめる
	子連れやペット連れでゆっくり出来る
	シニアや子育て世代がゆっくりと休憩や軽食がとれる場所

	ただ散歩したり休んだりできるような場所
	自然が整備された山下公園に接続する施設として、緑の連続性は確保すべき
観光	恒久的に観光地になる仕組み・流行りで途絶えない観光誘致の仕組み、四季折々など年間を通して来訪者を生み出す仕組みづくり
	夜景とクルーズが定番の観光になる
	外国人観光客や富裕層、ビジネスパーソンが利用し滞在できる施設を集積させたエリア
	横浜に立ち寄っても日帰りで帰ってしまうことが多い外国人観光客が、横浜で宿泊してくれるほどの魅力あるもの
	国内の他地域や海外にあるような施設ではなく、ここにしかない、横浜だけにしかないもの
	横浜ならではの個性あるエリア
歴史・文化・芸術性	現在の地形をそのまま残し、船が停泊する雰囲気 また、出来れば建物も横浜の歴史として残す
	ただ壊して作るだけではなく古き良きものは残していくということを考えて再開発してほしい
	アニメ関連がいいかな、動くガンダムが人気だったように
	学術、芸術、食を大きなテーマ
	アーティストを中心に創造活動を行える場
景観	魅力ある横浜の象徴となる施設
	国際的な拠点とするのであれば、ランドマークとなり得る超高層型の建築は都市景観を形成するためにも用いて良い
	山下埠頭の景観にふさわしいトラディショナルなキャンパスや街並み
	出来る限り近代的なものは作らず、京浜エリアの景観に馴染むようなもの
先進性	海洋ゴミの除去など最先端の技術開発、海から地球環境を守るブレーンの集約そしてシリコンバレーのような場所にして欲しい
	最新技術を使用した疑似体験出来る
	日本を代表するイノベーションハブ
	先端技術開発に関する研究開発拠点、ベンチャー企業育成
国際性	外国人なども興味を持って日本人との交流が自然とできる
	地方からも外国からも人がたくさん集まるような魅力溢れる場所
	和風の外観(城など)にして外国人観光客をひきつける雰囲気
その他	治安が良い町
	道路が歩行者・自転車・車にとって通行しやすいまちづくり

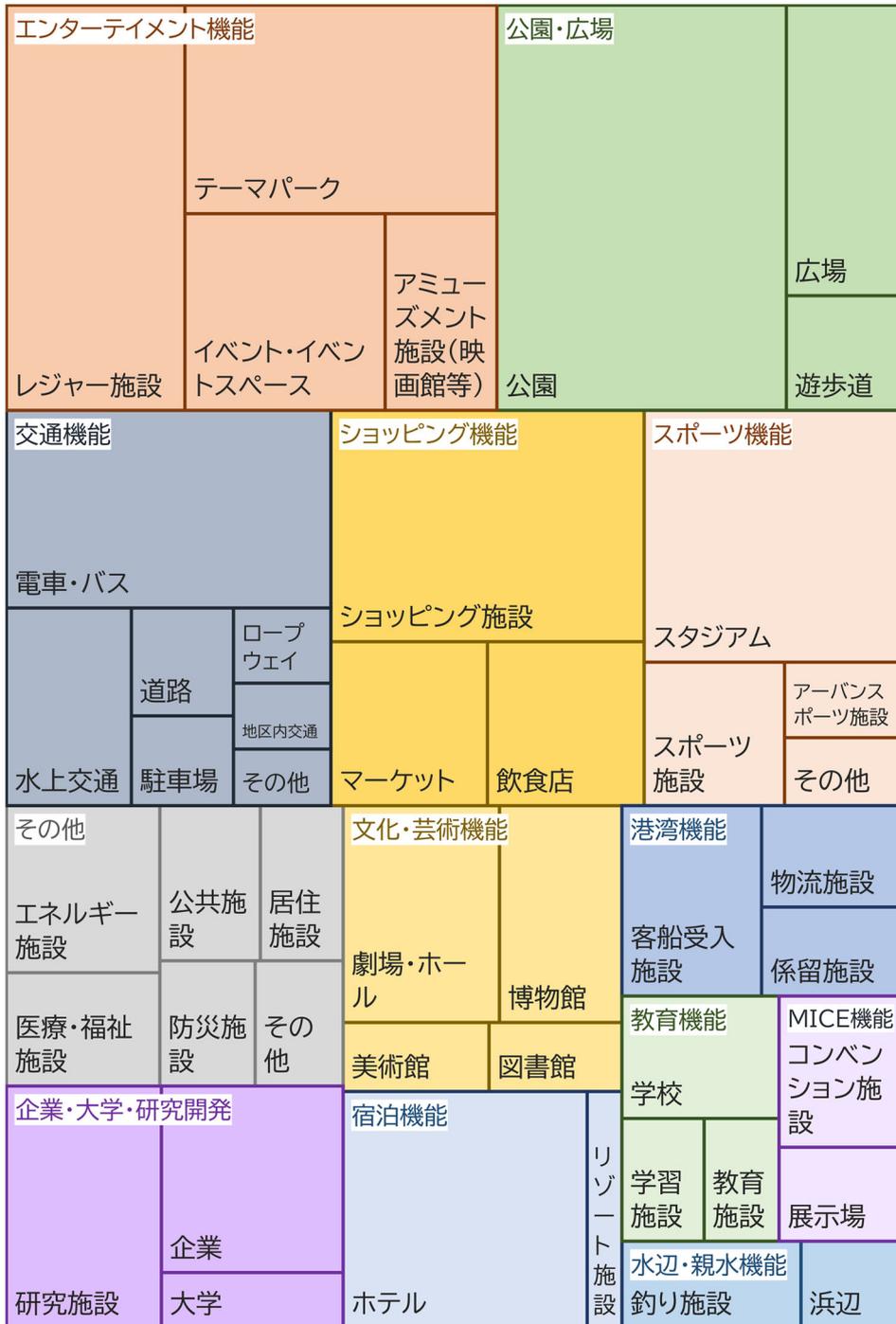
(3) 導入機能の集計結果

ア 単純集計の結果

「導入機能」に分類した意見の集計結果については、図表 3-6 から図表 3-8 のとおりです。意見のテーマとしては「エンターテイメント機能」、「公園・広場」、「交通機能」、「ショッピング機能」、「スポーツ機能」が多く、導入機能としては「公園」、「レジャー施設」、「ショッピング施設」、「スタジアム」、「テーマパーク」、「電車・バス」、「ホテル」が多くなっています。

図表 3-6 導入機能（ツリーマップ）

※類型化した意見をテーマごとに集積して色分け、面積の大きさは意見の多さを表す



図表 3-7 導入機能（集計表）

導入機能	意見数		
エンターテイメント機能	217	文化・芸術機能	87
レジャー施設	79	劇場・ホール	37
テーマパーク	71	博物館	29
イベント・イベントスペース	43	美術館	11
アミューズメント施設(映画館等)	24	図書館	10
公園・広場	181	宿泊機能	72
公園	128	ホテル	63
広場	38	リゾート施設	9
遊歩道	15	港湾機能	59
交通機能	140	客船受入施設	29
電車・バス	70	物流施設	16
水上交通	27	係留施設	14
道路	12	教育機能	42
駐車場	10	学校	21
ロープウェイ	8	学習施設	11
地区内交通	7	教育施設	10
空港	6	MICE機能	34
ショッピング機能	135	コンベンション施設	21
ショッピング施設	79	展示場	13
マーケット	28	水辺・親水機能	27
飲食店	28	釣り施設	17
スポーツ機能	113	浜辺	10
スタジアム	72	その他	103
スポーツ施設	22	エネルギー施設	28
アーバンスポーツ施設	10	医療・福祉施設	19
フィットネス施設	9	公共施設	17
企業・大学・研究開発	89	居住施設	14
研究施設	41	防災施設	13
企業	37	農場	6
大学	11	保育施設	3
		展望施設	3
		総計	1299

図表 3-8 導入機能（年代別）

テーマ	導入機能	各年代の意見数									計
		～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	無回答	
エンターテインメント機能	レジャー施設	2	3	9	16	18	16	8	3	4	79
	テーマパーク	1	5	8	13	19	13	8	1	3	71
	イベント・イベントスペース	0	0	1	11	12	12	6	0	1	43
	アミューズメント施設(映画館等)	1	1	5	3	6	5	2	1	0	24
公園・広場	公園	3	1	5	15	39	35	22	6	2	128
	広場	0	1	2	4	13	6	11	1	0	38
	遊歩道	0	0	0	3	6	5	1	0	0	15
交通機能	電車・バス	2	5	8	11	21	17	4	1	1	70
	水上交通	0	1	1	4	11	7	2	0	1	27
	道路	0	2	0	2	3	2	3	0	0	12
	駐車場	0	0	1	2	2	2	3	0	0	10
	ロープウェイ	0	0	1	1	2	2	1	1	0	8
	地区内交通	0	0	1	2	1	1	0	1	1	7
	空港	0	0	0	0	1	3	1	1	0	6
ショッピング機能	ショッピング施設	2	5	5	16	31	12	8	0	0	79
	マーケット	0	0	1	3	11	8	4	1	0	28
	飲食店	1	2	1	2	11	5	5	0	1	28
スポーツ機能	スタジアム	4	14	11	11	15	11	3	1	2	72
	スポーツ施設	0	4	0	3	6	6	2	1	0	22
	アーバンスポーツ施設	0	0	1	3	2	2	1	0	1	10
	フィットネス施設	0	0	0	2	2	3	1	0	1	9
企業・大学・研究開発	研究施設	0	1	1	5	11	8	11	3	1	41
	企業	0	3	5	8	10	7	3	1	0	37
	大学	0	1	0	3	3	1	2	0	1	11
文化・芸術機能	劇場・ホール	0	2	1	4	9	7	10	3	1	37
	博物館	0	0	3	3	5	9	7	1	1	29
	美術館	0	1	0	2	3	2	2	1	0	11
	図書館	0	1	0	2	0	4	3	0	0	10
宿泊機能	ホテル等	0	4	6	11	13	14	10	3	2	63
	リゾート施設	0	2	2	2	2	0	0	1	0	9
港湾機能	客船受入施設	0	2	2	3	5	8	8	1	0	29
	物流施設	0	0	0	1	4	5	4	0	2	16
	係留施設	0	0	1	2	3	1	6	0	1	14
教育機能	学校	0	2	2	3	2	7	5	0	0	21
	学習施設	0	1	2	0	1	3	3	1	0	11
	教育施設	0	0	1	2	2	1	3	1	0	10
MICE機能	コンベンション施設	0	2	2	5	3	6	3	0	0	21
	展示場	0	2	0	1	1	7	2	0	0	13
水辺・親水機能	釣り施設	0	0	1	4	4	5	2	0	1	17
	浜辺	0	0	1	1	5	1	2	0	0	10
その他	エネルギー施設	1	0	0	6	8	7	3	1	2	28
	医療・福祉施設	0	0	0	3	6	6	1	2	1	19
	公共施設	0	0	3	5	3	4	0	1	1	17
	居住施設	0	3	2	1	3	2	3	0	0	14
	防災施設	0	0	0	2	3	6	1	1	0	13
	農場	0	0	1	1	1	2	1	0	0	6
	保育施設	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3
展望施設	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3	

イ 主な意見（抜粋）

テーマ	意見内容
エンターテインメント機能	シーズンごとに様々な国のフェスティバルを行える広場や会場等
	遊園地、水族館、動物園、夏はプール冬は雪遊びができる施設
	アニメやゲームなど日本文化のグローバルテーマパーク
	釣った魚を食べられるレストラン、キャンプ場
	世界映画祭が開催できるシアター
	サーカスや野外フェス等のイベントスペース
	温泉施設とかリラックスできる施設
	デジタルアートとテーマパークが融合した文化芸術を軸とした非日常を味わえる娯楽施設
	サーキット施設、公園周回路を臨時でサーキットにする
	キャンピングカーがとめられるようなバーベキュー場
	港の景観を活かしたテーマパーク
公園・広場	緑豊かで海と親しめる臨海公園
	市民に開放された広場
	山下公園の雰囲気拡大し、十分な芝生スペース、多目的に利用可能な野外ステージ・スタンド・グラウンド
	芝生の広場及び緑のあるエリア
	ウォーキング、サイクリングなどを楽しめるスポット
	年代を問わず楽しめる公園
	緑に囲まれた遊歩道
	山下公園や赤レンガ倉庫前の広場のような場所を作り、都度イベントができるようなスペース
	山下公園や港の見える丘公園のように花を楽しめる施設
交通機能	横浜駅、みなとみらい地区との水運(シーバス等)の整備
	セグウェイ、スケートボード、低速バイク、電動車イスでしか移動できないなど
	回遊性のある公共交通機関及び歩行通路
	夜間でも安全な暗さのない道路、交通網の整備
	横浜駅から LRT のような路面電車
	現在桜木町から運行しているケーブルカーを山下ふ頭まで延長
	観光や通勤ルートの一つとして船を活用
ショッピング機能	米国サンフランシスコのフィッシャーマンズ・ワーフのようなレストランや軽食店を誘致
	ジャズや音楽だけでなく演芸などが楽しめるクラブ等の飲食店街
	地元横浜の企業、お店を中心にショッピングモール
	親水性のある飲食店
	地元の産業や物産が集まったスペース

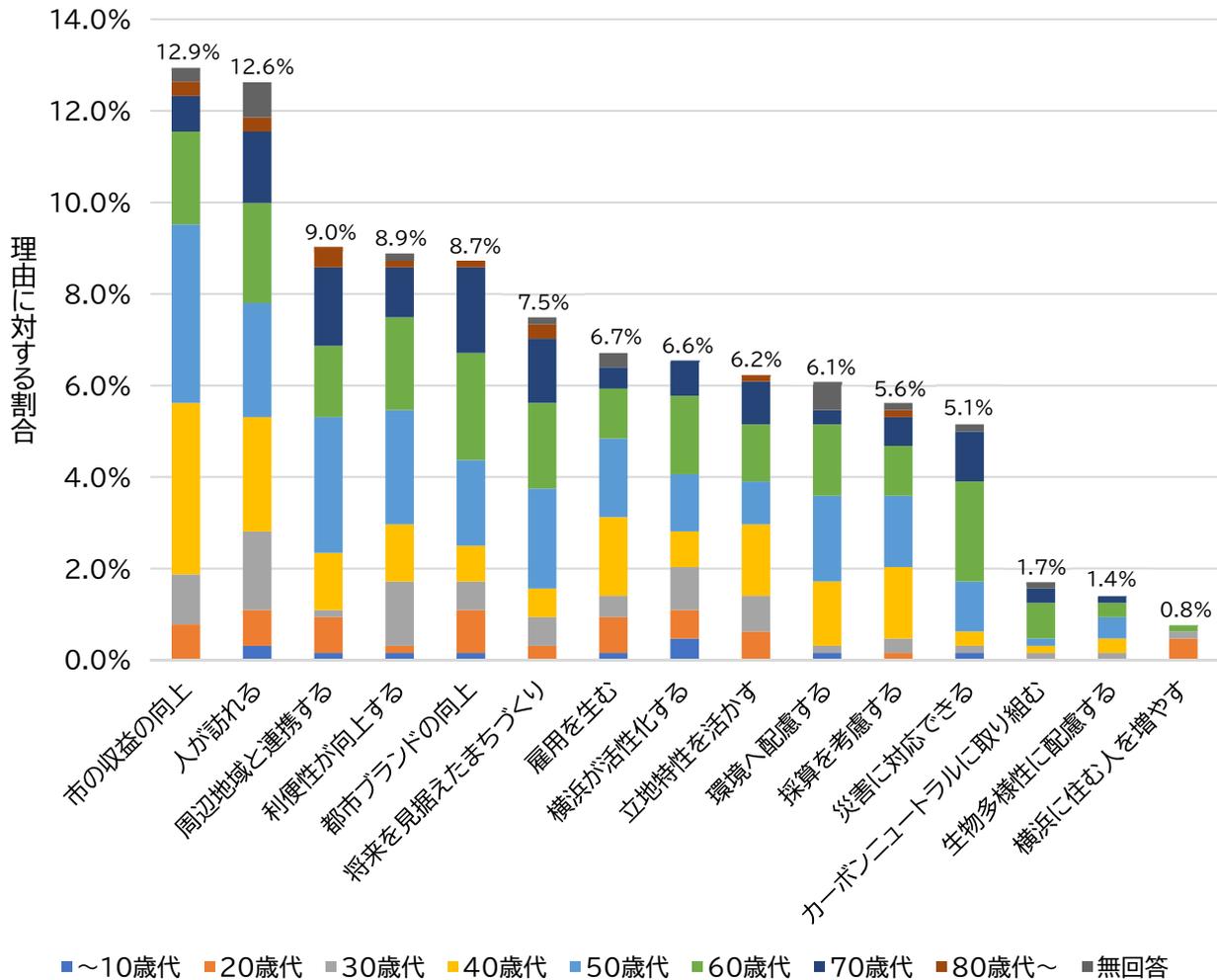
	異国雰囲気のある商業施設
	商業、エンターテインメントの複合施設
スポーツ機能	野球やコンサートが出来るようなドーム球場
	各種世界大会が定期的に行われる総合体育館
	陸上競技やサッカー用のグラウンド
	スケートボードやローラースケートなど最近ではドンドン規制されて練習しにくい競技の練習場がある公園
	国際的なサッカー専用スタジアム
	スポーツセンター、発電所の余熱を利用したプールとスパ
企業・大学・研究開発	最先端の研究開発を行う大学を誘致
	伝統の技術や文化を継承する企業や学校の集積地
	金融・IT を中心とした外資系企業の誘致
	気候変動や脱炭素化を研究するための研究機関
文化・芸術機能	芸術劇場
	歴史博物館などの文化施設
	現代アートの美術館
	ライブコンサートができるマルチアリーナ
宿泊機能	シンガポールの「マリーナベイ・サンズ」のような世界屈指になるようなホテルを誘致
	マリンリゾート施設
	遠来からの集客のための宿泊施設
	日本一の世界でも有名な超高級ホテルを誘致
港湾機能	超大型の客船が入港・着岸できる設備
	貨物船(荷役は厳しいかもしれませんが)、官庁船、作業船などさまざまな種類の船が係留し、間近で見られる施設
	貿易・経済に貢献する港湾施設を持った港
教育機能	技術を学ぶ生涯学習施設・科学館
	外国の有名大学の誘致
MICE 機能	世界規模のシンポジウムや展覧会などが開催可能な、コンベンションセンターの誘致
	最先端技術やロボットなどの製品の展示やイベントを行う展示イベント会場
水辺・親水機能	砂浜にして、浅利等の生息地
その他	高度医療が提供できる国際病院
	水力発電や水質浄化機能をもった施設
	中学校の給食センター
	津波からの避難所の機能
	風力、洋上を含めた発電施設

(4) 理由の集計結果

ア 単純集計の結果

理由の集計結果については、図表 3-9 のとおりです。「市の収益の向上」が 12.9%、「人が訪れる」が 12.6%と多くなっており、次いで「周辺地域と連携する」、「利便性が向上する」、「都市ブランドの向上」、「将来を見据えたまちづくり」となっています。

図表 3-9 理由の集計結果



イ 主な意見（抜粋）

理由	意見内容
市の収益の向上	稼げるコンテンツが必須、市の財政のためになる
	長期的な税収が見込める
	海外からお金を集めることは重要
	将来世代が本市の財政状況を危惧することのないように市税収入の確実な確保
人が訪れる	市内で泊まってくれる日本のお客さんをふやす
	世界からも観光客を呼び込むことができる
	若者が集まる
	来訪者が国内だけでなく、世界に広がる
周辺地域と連携する	周辺の既存の施設との差別化は必要
	「みなとみらい」が商業地・オフィス事業系に開発されて来ているのでこの類の開発は不要、避けたい
	山下埠頭の再開発は、山下公園はもちろん、関内地区と一体で行われるべきこと
	みなとみらい 21 地区と同じでは意味がないし、同じにしてはいけない
利便性が向上する	近隣の新港地区や中華街、山下公園付近の駐車場渋滞解消
	アクセスを良くしてほしい
	市民や観光客が日常的に利用できる交通手段の役割を果たす
都市ブランドの向上	他所と異なるブランドイメージを確立する
	グローバルな視点から東京でも世界からの 都市競争で切磋琢磨の中、横浜に人を呼び込む
	宣伝なしでも話題になりメディアが取り上げ知名度が自然に上がる
	横浜の国際的な価値を高める
将来を見据えたまちづくり	50 年、100 年先を見据えた開発
	中長期的に横浜の持続可能のためになる開発
	そこで使用する電気等は再成可能エネルギーにし、次世代への贈り物にもなるような場所
	未来の横浜、日本及び世界の子供達に夢と希望を与える
雇用を生む	多くの雇用も期待出来る
	夜間も人が活動できる事で雇用も増え 経済的にも効率的
	邦人・外国人問わず雇用が生まれる
	ヨコハマのブランド力で、海外から人が集まり、最終的に雇用や税収が生まれる街にすればモデルケースに出来る

横浜が活性化する	東京と横浜では本社を置く企業の数に大きな差があり、地域として発展してほしい
	交通をより便利にすれば、山下ふ頭だけでなく横浜市発展につながる
	横浜は、海の背景もあり観光性に優れ世界中から人を集め活性化を図る良いチャンス
立地特性を活かす	山下公園から突き出した位置にあり、先端が張り出した地形を生かしてほしい
	日本にある古くからの港町には、他の街にはない独特の雰囲気、街並みがあふれており、その良さを生かす
	海沿いの広大な平らな土地を活かす
環境へ配慮する	生物が住みにくくなっているため、地球に優しくしていきたい
	地球温暖化対策のために
	喫緊の課題である地球温暖化対策問題に少しでも貢献するため
	環境問題の解決、特に温室効果ガスの削減が世界的な課題
採算を考慮する	将来に渡ってあまりメンテナンス費用のかからない
	維持費が安く効果が出やすい
	持続可能で赤字が少なくなるような施設を望む
	できるだけ少ない予算で効率的に開発を行う
災害に対応できる	災害時には防災拠点として確保してほしい
	防災拠点、いざという時には仮設避難所としても使える
	地震・津波に対応できるような避難計画を立てて欲しい
カーボンニュートラルに取り組む	風力発電の電気を利用してクリーン水素を作る
	SDGsを実現するため電力は太陽光パネルなどによる発電を基本とするなど脱炭素社会のモデルになるようにする
	これからの都市を考えるうえで、炭素ゼロ、サステナビリティは不可欠
生物多様性に配慮する	人工干潟や砂浜など生物多様性を目指して欲しい
	自然と人間と動物の共生
横浜に住む人を増やす	新たなファミリー層・若い世代の定住化

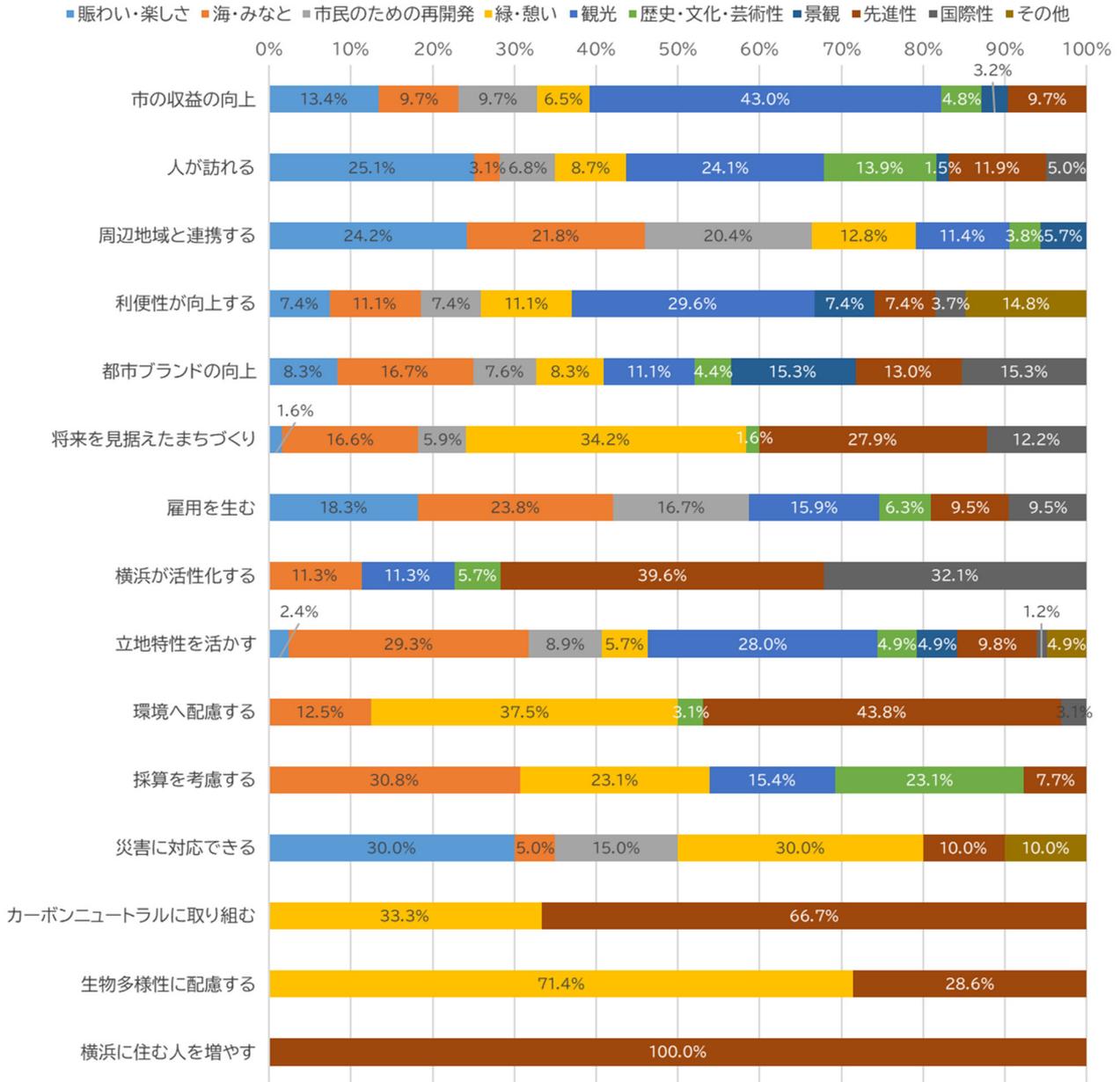
(5) 再開発のイメージ及び導入機能と理由の関係性について

「再開発のイメージ」及び「導入機能」を提案した「理由」について分析を行いました。

ア 理由から見た再開発のイメージとの関係性

理由別にどのような再開発のイメージが提案されているかを集計、分析した結果は図表 3-10 のとおりです。

図表 3-10 「理由」と「再開発のイメージ」の関係性（比率）



※理由に関する記載があった意見のみを集計

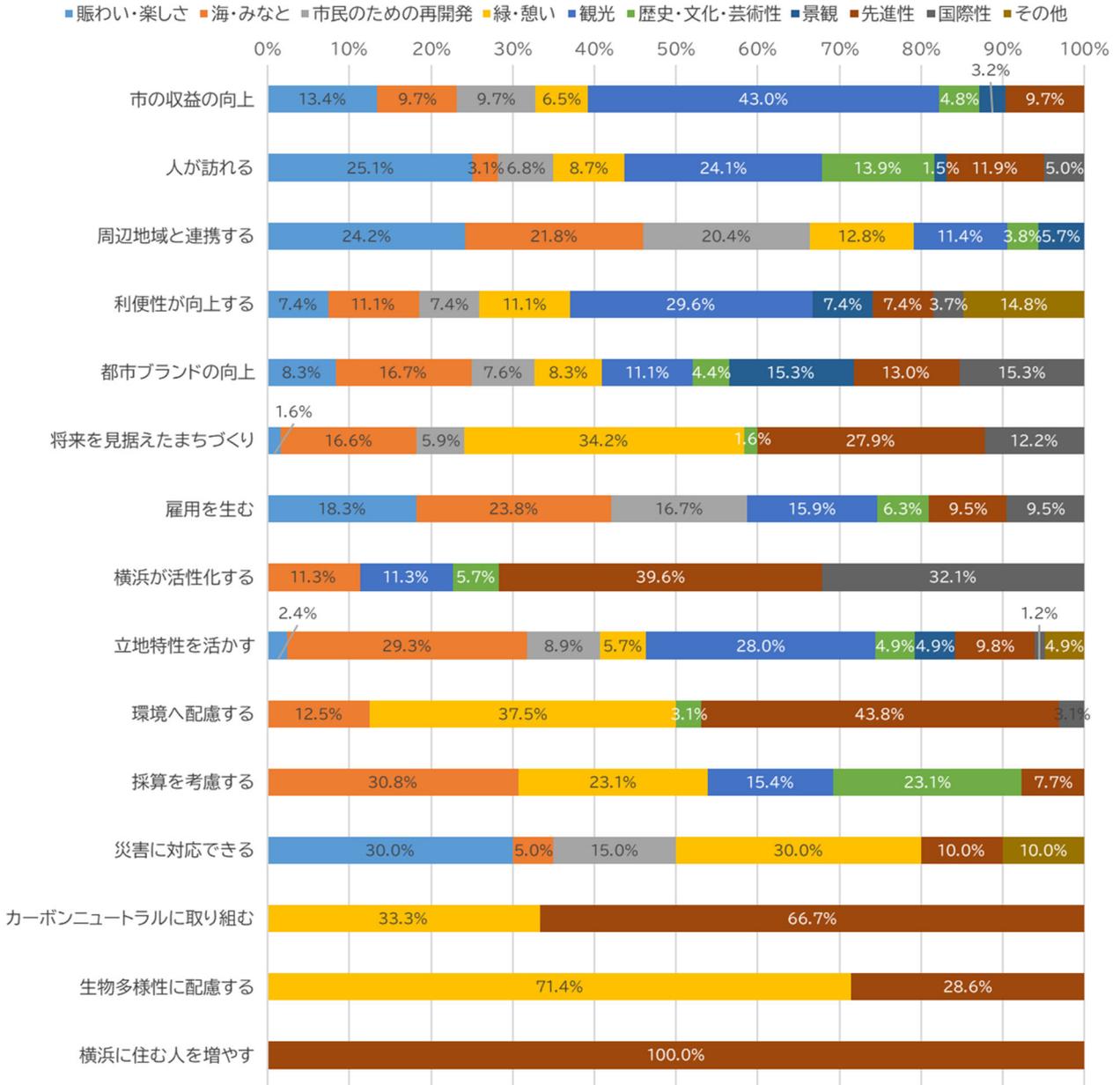
分析結果の主な傾向は以下のとおりです。

- ・「市の収益の向上」や「利便性が向上する」では「観光」が占める割合が最も多くなっています。
- ・「横浜が活性化する」や「環境へ配慮する」、「カーボンニュートラルに取り組む」、「横浜に住む人を増やす」では、「先進性」が占める割合が最も多くなっています。
- ・「将来を見据えたまちづくり」や「生物多様性に配慮する」では、「緑・憩い」が占める割合が最も多くなっています。
- ・「都市ブランドの向上」や「雇用を生む」、「立地特性を活かす」、「採算を考慮する」では、「海・みなと」が占める割合が最も多くなっています。
- ・「人が訪れる」や「周辺地域と連携する」では「賑わい・楽しさ」が占める割合が最も多くなっています。
- ・「災害に対応できる」では、「緑・憩い」と「賑わい・楽しさ」が占める割合が最も多くなっています。

イ 理由から見た導入機能との関係性

理由別にどのような導入機能が提案されているかを集計、分析した結果は図表 3-11 のとおりです。

図表 3-11 「理由」と「導入機能」の関係性（比率）



※理由に関する記載があった意見のみを集計

分析結果の主な傾向は以下のとおりです。

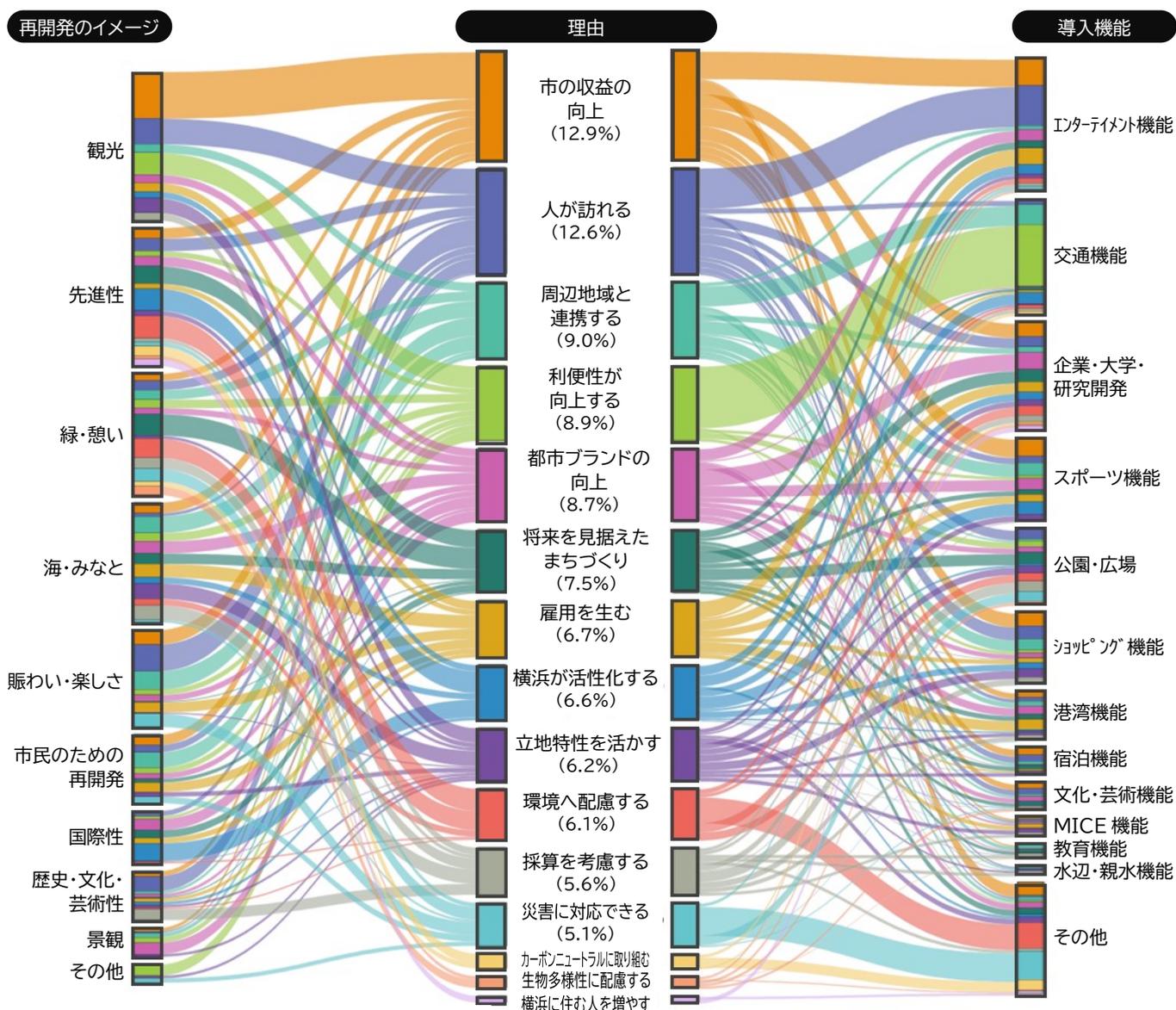
- ・「市の収益の向上」や「人が訪れる」、「雇用を生む」点では「エンターテインメント機能」が占める割合が最も多くなっています。
- ・「周辺地域と連携する」や「利便性が向上する」、「カーボンニュートラルに取り組む」点では「交通機能」が占める割合が多くなっています。
- ・「都市ブランドの向上」や「将来を見据えたまちづくり」、「環境へ配慮する」、「横浜に住む人を増やす」点では、「企業・大学・研究開発」が占める割合が多くなっています。
- ・「横浜が活性化する」点では「スポーツ機能」が占める割合が最も多くなっています。
- ・「採算を考慮する」、「災害に対応できる」点では「公園・広場」が占める割合が多くなっています。
- ・「立地特性を活かす」点では「ショッピング機能」が占める割合が多くなっています。
- ・「生物多様性に配慮する」点では「企業・大学・研究開発」と「公園・広場」が占める割合が最も多くなっています。

ウ 再開発のイメージ及び導入機能を提案した理由

再開発イメージ及び導入機能に関する意見のうち、理由の記載があった意見についてその関係性を可視化したものが図表 3-12 になります。関係性のあったものが線で結ばれ、線の太さは関係性の強さを示しています。

同じ理由から異なる再開発のイメージや導入機能の意見が出されており、理由として多かった「市の収益の向上」「人が訪れる」「周辺地域と連携する」「利便性が向上する」「都市ブランドの向上」「将来を見据えたまちづくり」などが再開発に求められています。

図表 3-12 「理由」と「再開発のイメージ」、「導入機能」の関係性



※理由に関する記載があった意見のみを集計

その他の意見について

「再開発のイメージ」、「導入機能」及び「理由」の分類項目によらないその他の意見について一部抜粋して掲載します。

- ・山下埠頭の再開発については、HPにある開発基本情報やマスタープランを拝見しています。横浜市にとって必要なプロジェクトだと思います。
- ・再開発の情報があまり無いので、情報発信をより多くして欲しいです。
- ・広大な土地ですので、まずは1つ2つ、シンボリックな存在を作りだし、時折見直しをしながら、その時々時代に合ったものを段階的に開発していくのもよいかと思います。
- ・今、日本各地で観光目的の大規模エンタメ施設の計画や施設建築が進んでいますが、横浜は既に観光客を魅了する施設は十分に備えていると私は思います。
- ・SNSを利用して情報発信があると、こちらも情報を得やすいのであると良いなと思います。
- ・近辺の再開発よりも税金を他のことに使ってほしいです。
- ・山下埠頭の存在のアピール不足が否めない。ネットや他の媒体を活用して広くアピールして有効活用する。
- ・開発に際しては、この土地を横浜市としてどのような役割を持たせるのかという年月が経っても変わらない軸をビジョンなどで定めて、段階的に開発を行うことが重要だと考えます。
- ・スポーツベッティングは賭博であり実施する場合は市民に信を問う必要があると考えます。
- ・再開発についての意見は市内小学生にも募った方がいいのではないのでしょうか。子どもも大人も一緒になって考えると寄りよい横浜の未来につながるのではないのでしょうか。
- ・この再開発の成否は、将来の横浜の都市像に直結します。都市工学、歴史学、地学、経済学、国際政治学、芸術学等々、横浜の英知を結集したまちづくりを期待したい。
- ・市民の声を聴く形で進めているのはいいことだと思います。
- ・市の組織横断型でのプロジェクトとして機能させてください。その上で、市民が最後まで計画に関われる形を採用することで、住民の意志が尊重、反映される仕組みで臨んでください。
- ・山下埠頭の新たな計画ではギャンブルを含む機能・施設、それを目指すことを含め禁止とすべきと考えます。
- ・スポーツベッティング案に反対します。横浜の港を賭博場にしてはいけません。
- ・先を見据えて、限りある資産を有効に使うことが喫緊の課題だと思います。大きなことこそ、知恵を出し合い工夫して進めることが肝要です。

インターネット入力フォームや専用はがきによらない形でいただいた意見

インターネット入力フォームや専用はがきによらない形でいただいた意見については、自由意見の一つとして扱い、分析の対象としていますが、様々な観点からの意見をいただいているため、意見のタイトルを掲載します。(五十音順)

- ・カジノ代替案 Robot-Game World 案 (カジノを凌ぐ経済化効果を期待できるプラン)
- ・カジノを凌ぐ税収を期待できる代替案 (RGWorld 案) を提案します
- ・多様な森を闊歩する洋上の里山 (出島) は発見の森
- ・内港地区と山下ふ頭の再開発提案
- ・「内港地区の将来像」と「山下ふ頭の再開発」について
- ・ビッグサイトに次ぐ、OTAKUの聖地に
- ・山下ふ頭 e スポーツスタジアム企画ご提案書
- ・山下埠頭再開発について
- ・山下埠頭再開発について
- ・山下埠頭再開発について
- ・「山下ふ頭再開発」について意見提案書
- ・山下ふ頭再開発についてのご提案
- ・山下ふ頭再開発の意見提出
- ・山下ふ頭における多機能図書館とアートを中心とした創造都市
- ・山下埠頭に「カルチャー教室センター」を作ってください
- ・山下埠頭の開発で
- ・山下ふ頭の再開発 市民意見募集の応募について
- ・山下ふ頭の再開発提案
- ・山下ふ頭の再開発に関する意見
- ・山下ふ頭の再開発に対する意見
- ・山下ふ頭の再開発について 【基本姿勢】「知」を軸にした横浜市の新展開を願って
- ・山下埠頭の再開発についての意見
- ・「山下ふ頭の再開発」についての意見
- ・「山下ふ頭の再開発」への意見
- ・横浜国際デジタル博物館構想 (サイバーミュージアム)
- ・陸海空新旧あらゆる乗り物体験&開発わくわくパークは如何でしょう？
- ・2つの IR
- ・OCEAN FRONT CITY 「海面上昇適応都市」
- ・RG-World 案 : テーマパークでの新技術運用を通してロボット産業を振興する

その他、タイトルの記載がない意見 12 件